

## 式 辞

校庭の桜のつぼみも膨らみ始め、暖かな春の訪れを告げる季節となりました。

本日ここに、本校PTA会長 篠原 直 様 をはじめ、保護者の皆様のご臨席を賜り、茨城県立水戸商業高等学校 第120回卒業式を、かくも盛大に挙行できますことは、私ども職員一同、大きな喜びとするところでございます。

ただいま、卒業証書を授与いたしました、

276名の卒業生の皆さん、卒業、誠におめでとうございます。

皆さんの高校生活は、新型コロナウイルス感染症と如何に向き合うのかという、試練の三年間とはなりましたが、仲間と協力しながら、常に前向きな気持ちで行動してくれました。

この苦しい体験は、きっと、これからの人生において、大きな力を発揮するものと信じております。

さて、卒業式は、今後の人生を力強く生きていくためのスタートの時でもあります。

これからの人生を前向きに、そして、大切に送っていただきたいという期待を込めて、二つの事を、お願いしたいと思います。

一つ目は、「心を耕す」という事です。

人生を豊かに生きるために、また、周りの人と協働して、よりよい社会をつくるためにも、是非、その土台となる「心」を耕して頂きたいと思います。

ここで言う「耕す」とは、様々な経験を通じて心を豊かにし、未知の自分を知り、苦しい事や辛いことを乗り越え、よりたくましく、より優くなる事などを意味しています。

もちろん、美しいものや、素晴らしいものを見聞きし、感性が豊かになることも、

また、読書などを通して、人生の深さに気づき、生きる上での知恵を得る事も、心を耕すという事です。

大地を耕して、初めて豊かな実りが得られるように、皆さんも心を耕して、柔軟で強い精神を養って頂きたいと思います。

コロナを経験した皆さんですので、楽しい事や嬉しい事だけでなく、困難な事や失敗なども、心の栄養となるという事を忘れないでください。

二つ目は、「言葉を磨く」という事です。

人とつながり、互いに尊重し、分かり合うために、そして、自分の思いが相手の心に響くように、是非、言葉を磨いていきましょう。

言葉一つで、人間関係はまったく違ったものになって行きます。また、言葉によって人は勇気をもったり、元気が湧いてくるものです。

時には、その人の人生を大きく左右する事さえあります。

そのような「言葉」の持つ力を、十分に理解し、その力を身に付ける事で、よりよい人生を歩んでいくことができます。

また、「言葉を磨く」という事は、コミュニケーションを大事にするという事でもあります。

どのような言葉を使えば、相手に受け止められやすいのか、正確に理解してもらえるのか、生きて働く力となるのかなど、日々、意識をしながら「暖かい言葉」をかける事が重要です。

この「暖かい言葉」が、新しい絆を結び、豊かな人間関係づくりに、つながるはずです。最後になりますが、卒業生の皆さん、健康には充分留意して、自分の道を一步ずつ、しっかりと進んでください。

皆さんのこれからの人生に、幸多からん事を祈念し、式辞と致します。

令和5年3月1日

茨城県立水戸商業高等学校長

山本 俊之